

日ミャンマー共同声明
～新しい友情の礎～

安倍晋三日本国総理大臣は、テイン・セイン・ミャンマー連邦共和国大統領の招待により、2013年5月24日から26日にかけてミャンマーを公式訪問した。

この訪問中、テイン・セイン大統領と安倍総理大臣は、温かく友好的な雰囲気の中で会談を行った。両首脳は、両国間の関係を新たな次元に高め、永続的な友好協力関係を築く基礎として、以下の分野で関係を強化すべく協力していくとの認識で一致した。

1. 改革の支援：

テイン・セイン大統領は、現在取り組んでいる民主化、法の支配の強化、経済の改革、国民和解といった諸課題解決に向け今後とも全力をあげて取り組んでいくことを確認した。安倍総理大臣は官民を挙げてこれらの取り組みを支援することを改めて表明した。

2. 共に繁栄を目指して：

ミャンマー国民の生活向上、豊かな国作りには、インフラを含む経済・社会資本の整備、制度整備、人材育成、農村部及び少数民族地域の発展などが鍵である。日本政府は、ミャンマーの発展を支援するため延滞債務の解消のための措置を行ったことを受け、無償資金協力に加え新規円借款を供与することとし、今次訪問中、これらについての交換公文を取り交わした。加えて、ミャンマー政府の制度整備や人材育成のための日本からの技術協力の重要性を共有し、更に発展させていくことを確認した。また、両首脳は、両国間の貿易・投資を含めた経済関係の強化のため、投資協定の早期署名に向けた作業の加速化、技術協力協定に向けた努力の強化、ティラワ経済特区開発など様々な協力を行うことで一致した。テイン・セイン大統領は、先般立ち上げられた「日緬共同イニシアティブ」における議論等を通じ、今後とも投資環境の整備に向けた努力や環境社会に十分な配慮を行った適切な取り組みを継続することを確認した。

3. 人的交流・文化交流の強化：

両国は共に長い歴史と伝統文化を有し、両国間には、宗教、食文化等様々な共通点がある。また、2014年は、日・ミャンマー外交関係樹立60周年にあたる。長年にわたる両国間の人と人の交流に基づく信頼と友情の絆は両国間

の関係の基礎であり、今後ともあらゆる分野において強化される。安倍総理は J E N E S Y S 2. 0 によって両国間の青少年交流が一層活発化するとの期待を表明した。テイン・セイン大統領は、両国間の経済関係及び観光の更なる活発化のため、日本人ビジネスマン及び観光客の訪問を促進するよう検討することを確認した。

また、両首脳は、長い歴史を有している文化交流・スポーツ交流についても、強化していくことで一致した。特に、安倍総理大臣は 2 0 1 3 年 1 2 月にミャンマーで開催される SEA Games 2013 に対し支援を行っていくことを確認した。

4. 政治・安全保障協力の強化

両首脳は、アジア太平洋、インド洋地域における協力を進めるため、地域の情勢や安全保障に関する対話を強化していくことで一致した。また、両国の防衛当局間の協力を一層促進していくことで一致した。

両首脳は、以上の分野における日・ミャンマー間での取組みを強化するにあたり、日本側が発表した広範な案件リストがミャンマーの改革の更なる促進に大きく貢献し、幅広い分野における支援案件がすでに日本政府及び N G O を含む関係団体の下で進行し、または検討されていることを歓迎し、さらなる協力の推進を確認した。

また、両首脳は、本年の日・A S E A N 友好協力 4 0 周年を契機に日・A S E A N 協力を更に推進していくことで一致した。その観点から、日・A S E A N 特別首脳会議へのテイン・セイン大統領の参加を確認し、日本がミャンマーの A S E A N 議長国としての諸活動への支援を引き続き行っていくことを歓迎した。

ネーピードー

2 0 1 3 年 5 月 2 6 日